



きょうの紙面	公共 松戸市補正予算/中小9校でアスベスト対策 2	公共 富津市予算要求状況 6.5億円の財源不足 2	民間 市川市解体情報/有木屋様集合住宅新築など 3	公告 NEXCO/東関東小菅高架橋塗替塗装工事 5	入札 北習志野分場遠隔監視設備4.8億円で東芝に 5	入札 浦安中央病院新築工事 東急建設が9.9億円で 4
--------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	----------------------------	-----------------------------

# 白子町内全小学校に拡大

## 復興事業連絡協力が協力

### 南白亀川「うなぎ」放流活動

白子町立関小学校、白瀧小学校、南白亀小学校の3年生総勢70人余の児童は、先月30日、町内を流れる南白亀川に「うなぎ」30kgを放流した。南白亀川漁業協同組合(酒井良信組合長)が主催し、南白亀川復興事業区間連絡協議会(中西清吾議長)が協力したもので、地元の白子町、河川を管理する県長生土木事務所からも応援に駆け付けた。南白亀川復興事業区間連絡協議会は、長生土木事務所発注の「南白亀川広域河川改修(復興)工事」(護岸工)をそれぞれ施工する町内の(株)大多和組、丸信工業(株)、(株)齋藤組、(株)新栄組、(株)安川の5社で構成。



横一列に並んでうなぎを放流



酒井組合長



中西議長



深山主査

### 「生き物」と「川」に親しんで

南白亀川漁協では7年ほど前から、ボランティアとして毎年、小学生とともに南白亀川にヘラブリナの放流事業を開始。町内の3校の児童を対象に、年1校ずつ交代で実施してきた。南白亀川復興事業区間連絡協議会のメンバーで、かねてから南白亀川漁協が取り組む同事業に着目していた大多和組と丸信工業の両社は、「各々が施工した現場を子どもたちが現場を見ることができ、建設業を身近に感じてもらう」ことをはじめ、「津波により描かれた『川は怖い』というイメージの払拭」のほか、「生き物と触れ合うことによる情操教育などに効果があるのでは」と考え、南白亀川漁協の活動に協力。今年3月には、児童による初めての「うなぎの放流」を実現させた。異口同音に「とても楽しかった」というこの時の児童たちの反応はもとより、各方面からの評判も上々だったことから、今回は同協議会全体で協力し、対象校も一度に3校へと拡大させたもの。

### 千葉市 海浜病院設備改修 梓で基本計画案策定へ

千葉市立海浜病院事務局は11月30日の入札で、同病(美浜区磯辺3-31-1)の設備改修基本計画案策定業務を梓設計(東京都品川区東品川2-11-11)へ委託することを決めた。委託期間は120日間。予定価格992万5000円に對し、落札額は790万円(いずれも消費税を除く)だった。2001~04年度に実施した設備劣化診断に基づいて課題を整理し、今後の施設の活用計画等を踏まえ、効果的かつ効果的な建築設備改修計画案及びそれに伴い必要となる建築改修計画案を策定する。対象となるのは病棟、診療棟、エネルギー棟の3棟。



本郷谷市長



湯浅社長

## 湯浅建設3年連続受賞 「市民の安全と安心を守る」



松戸市技術管理課は先月、市役所市民サロンで開16日、2016年度「松戸」き、対象工事71件の中「優良建設工事」の表彰式から、(株)湯浅建設、(株)本郷谷建設の2社に表彰状を授け、表彰した。

組、秩父産業(株)の3社(4工事)が受賞の栄誉に輝いた。このうち、(株)湯浅建設は3年連続の受賞となる。表彰式で本郷谷健次市長は「今後も多くの工事を発注することになるが、そのためには工事の内容がしっかりしたものでないといけない。市民の信頼は得られないと、多くの会社が優良工事表彰を目指している」と説明。「その中でも、業者間同士の防犯訓練などをしっかりと行い、『速力のある市内建設業者』を目指し、これからも努力していく」との決意を述べた。

優良建設工事表彰は、特に優良と認められる工事に表彰することで、良好な公共施設の整備と市内建設業者の技術力向上を図ることが目的。同市は14年度より同表彰制度を導入し、今回が3回目の表彰となる。

「今日はうなぎの放流をいっしょに楽しんで、これからも私たちがきれいに整備した南白亀川に遊びに来てください」と呼びかけた。

海浜から300m河口整備完了の護岸で

松戸市優良建設工事表彰式

3社4工事に栄誉

松戸市技術管理課は先月、市役所市民サロンで開16日、2016年度「松戸」き、対象工事71件の中「優良建設工事」の表彰式から、(株)湯浅建設、(株)本郷谷建設の2社に表彰状を授け、表彰した。

さらに、南白亀川復興事業区間連絡協議会の中西議長が「私たち町内の建設会社も、津波からみなさんを守るために、南白亀川の堤防の工事をしています。そして、この町の財産であるきれいな南白亀川を汚さないように、色々な方法で護岸工事もしています」と自己紹介を兼ねて説明。

「今日はうなぎの放流をいっしょに楽しんで、これからも私たちがきれいに整備した南白亀川に遊びに来てください」と呼びかけた。

「うなぎの放流。現場は、海浜から約300mの河口で、旭橋近くの南白亀川漁業協同組合事務所前の整備が完了した護岸。酒井組合長によると、この日放流したうなぎは、県内産の調達に間に合わなかったことから、急ぎ九州から空輸したという。また、児童たちが現場までの送迎には、白子町のマイクバス「チュウリップ号」をフル活用。最初の学校の児童がうなぎを放流中に、次の学校の児童たちを迎えに行き、最初の学校の児童を送り届けた。三番目の学校の児童を迎えに行くというピストン搬送を行い、効率化を図った。

児童たちから喚声

各学校の児童たちは、うなぎが入ったバケツを持って5~6人が横一列に並び、1匹ずつ両手でしっかりと掴んで、喚声を上げながら流会場を後にした。

「南白亀川復興事業区間連絡協議会のメンバーが担当する主な南白亀川広域河川改修(復興)工事」

- (株)大多和組II護岸工その17▽護岸工その36
- 丸信工業(株)II護岸工その18▽護岸工その35▽護岸工その37
- (株)齋藤組II護岸工その38
- (株)新栄組II護岸工その19▽護岸工その34
- (株)安川II護岸工その37



児童たちの送迎に白子町の「チュウリップ号」が1役を担った。放流を終えた児童たちから南白亀川に放流。それぞれの閉会式では、酒井組合長の「ちゃんと手で掴めましたか?」「楽しかったですか?」「またやりますか?」「またやりますか?」の問いかけに「はい」と返答。全員による元気な「ありがとうのさけい」の掛け声。児童たちは「チュウリップ号」に乗り込み、放

松戸市優良建設工事表彰

株式会社湯浅建設

代表取締役社長 湯浅健司

〒270-2253  
千葉県松戸市日暮5丁目25番地  
TEL 047-387-2281 FAX 047-387-2285  
http://www.yuasakensetu.co.jp/



大山橋下部工事その1



松戸市立河原塚小学校西校舎耐震及びトイレ改修工事